



豊平中学校ソフトテニス部

 **きたひろしま**

議会だより

vol.14
2008・11・21

第3回定例議会〈会期：9月18日～10月2日〉

- 平成19年度決算 P2～3
- 平成20年度補正予算 P4
- 一般質問** 20議員が町政を問う P5～11
- 委員会報告 P12
- 討論・発議・採択 P13～14

平成19年度会計別歳出決算額

(千円以下四捨五入)

一般会計		150億1,548万円	賛成多数
特別会計	国民健康保険	24億2,226万円	賛成多数
	老人保健	34億0,666万円	賛成多数
	下水道事業	9億3,953万円	全員賛成
	農業集落排水事業	3億9,816万円	賛成多数
	介護保険	22億4,320万円	全員賛成
	簡易水道事業	5億7,116万円	賛成多数
	電気事業	5,141万円	全員賛成
	住宅団地等開発	1,003万円	全員賛成
	芸北財産区	759万円	全員賛成
	診療所	1億6,950万円	全員賛成
情報基盤整備事業	4億6,516万円	全員賛成	
小計	106億8,466万円		
水道事業会計	1億3,382万円	全員賛成	
豊平病院事業会計	7億8,063万円	全員賛成	
合計	266億1,459万円		

決算審査報告

北広島町監査委員

箕野春人
杉本武信

審査に付された一般会計・特別会計・公営企業会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、各会計実質収支に関する調査及び財産に関する調査はいずれも関係法令に準拠して調整されており、それら計数を関係諸帳簿と照合した結果、誤りのないものと認められた。

【監査意見】

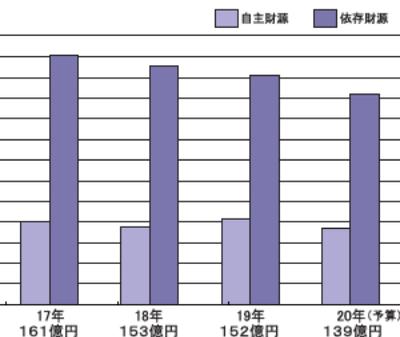
平成十九年六月十五日に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により財政健全化が求められる中、北広島町長期総合計画により将来像を「新田園文化のまち」宣言、北広島町とし、実現に向けた基本目標「地域を再生し、定住・交流の拡大をめざす」との基本方針を設定して町政運営に努められている。

北広島町も合併して三年が経過したが、三位一体の改革により交付税が削減され、財政運営は非常に厳しく事業推進に苦勞がうかがえる。

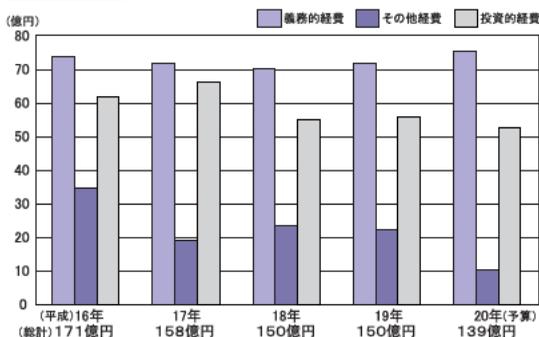
実質公債費比率が高いため財政健全化の必要から起債を抑制せざるを得ない実状もあるが、決算は黒字になっており北海道夕張市のような状況ではない。

今後とも、合併効果を引き出し「合併して良かった」と言われるような町政運営のため、全職員一丸となってクリエイティブ&チャレンジ精神で、町民の期待と信頼に応える町政の実現に邁進された。

歳入(収入)・歳出(支出)の推移



歳出(支出)



決算審査特別委員会報告

北広島町が発足して三年が経過し、「住民に身近な行政サービスは住民の最も身近な市町村が担う」という地方分権実現の基礎固めが行われてきている。平成十九年度当初予算では長期総合計画の将来像「新田園文化

のまち」宣言「北広島町」、基本目標「北広島を再生し、定住・交流の拡大をめざす」を策定し、この展開として五つの柱に沿った編成が行われ町政運営が図られている。平成十九年度決算における北広島町健全化

判断比率及び資金不足比率の報告があり、実質公債費比率二・二は県内市町二番目、将来負担比率二・三五・四は県内市町三番目の高率となっている。実質公債費比率は早期健全化基準には達していないが「許可団体」

となっており、平成十九年度単年度では二・八%で平成十八年度単年度より一・二ポイント上昇している。

また、普通会計の經常収支比率九・五、昨年比二・五ポイントの上昇であり、財政の硬直化が進み町の財政危機状態は依然として続いている。

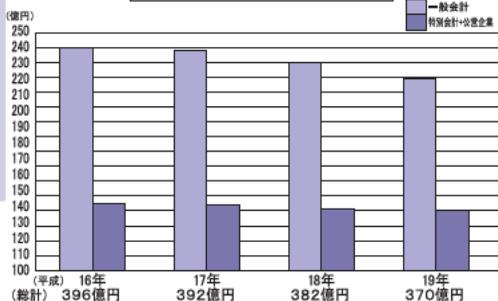
一、自主財源の確保、対策に関して多くの

質問があり、徴収事務は税務課だけでなく庁舎内の連携、情報の一体化、徴収資料の収集等の意見も出ており、税の公平性、受益者負担の原則が強く求められている。

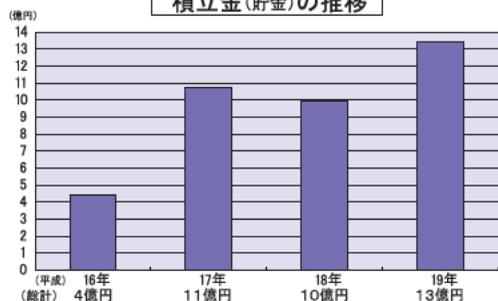
二、下水道事業・農業集落排水事業・簡易水道事業・水道事業等の使用料の統一、これらが多分に関係する小型合併浄化槽維持管理費の統一という問題解決が待たれる。

三、情報基盤整備事業

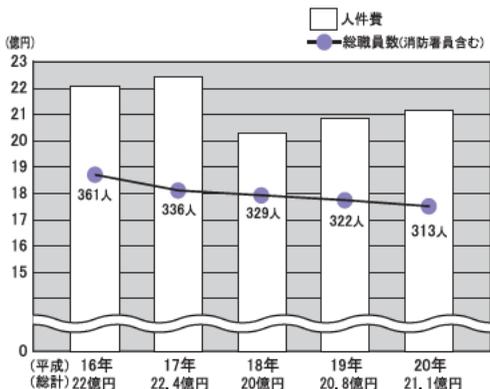
地方債(借金)残高の推移



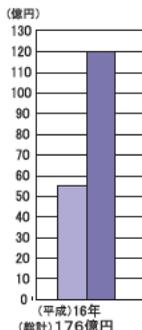
積立金(貯金)の推移



職員数と人件費の推移



歳入(収入)



業においては、芸北地域を除く三地域で平成二十年度から説明会が予定されており、受講者に分かり易い説明での加入促進が最重要視されている。芸北地域並みの加入率を得るには相当の忍耐と努力が必要と思われる。

本委員会での意見、提案は町民の代弁者としてのものであり、これを個々に噛み砕いて具体化することが行政の役割であり、責務であろうとも思っている。意見、提案、要望を検討し、今後の北広島町政の発展に活かされるように望みます。

平成20年度補正予算

平成20年度会計9月補正予算

会計名		補正前予算額	9月補正額	補正後予算額
一般会計		139億 500万円	1億9,700万円	141億 200万円
特別会計	国民健康保険	23億2,500万円	△ 340万円	23億2,160万円
	下水道事業	17億9,450万円	1,300万円	18億 750万円
	介護保険	22億6,600万円	480万円	22億7,140万円
	簡易水道事業	8億3,900万円	△ 400万円	8億3,500万円
	診療所	1億8,100万円	△ 700万円	1億7,400万円
	情報基盤整備事業	13億8,100万円	△8,290万円	12億8,730万円

平成20年度一般会計補正予算 (単位千円)

科目	補正額	年間予算	主な内容
議会費	△ 7,078	124,889	職員給与費 △ 7,078
総務費	195,342	1,937,874	職員給与費 159,035
民生費	△ 48,487	2,532,809	職員給与費 △ 32,199
衛生費	5,101	1,020,888	火葬場管理運営事業 1,470
農林水産業費	△ 18,410	1,206,606	職員給与費 △ 44,058
商工費	9,413	163,467	田原温泉運営事業費 7,500
土木費	△ 49,010	779,709	道路橋梁管理事業 △ 27,000 道路新設改良事業 △ 33,024
消防費	△ 11,016	593,883	職員給与費 △ 12,164
教育費	38,067	865,876	豊平運動公園運営事業 15,247 中学校管理事業 10,773
災害復旧費	2,059	28,183	農林水産施設20年災害復旧事業 2,059
諸支出金	80,640	1,655,970	財政調整基金費 100,000
予備費	379	43,662	



豊平運動公園





20議員 町づくり、地域づくり、人づくり を問う

政 行

問 次期町長選、

再出馬の意思は

答 再び信託を戴ければ

全力を傾注する



中村 勝義

問

初代町長として、新生北広島町を新しく創り上げていく町づくりを主眼に、新町建設計画・長期総合計画等との整合性を重視し、主要な施策の着実な実現とその基盤づくりに取組んで来られた。その結果合併効果と新町スタイルも徐々に確立されようとしている。しかしながら道半ばの事業や積み残した事業も数多く存在している。この実態を踏まえ、町長として二期目への再出馬の意思は。

答 皆様の信託を得て当選の光栄に浴する事ができ、今日まで公約の実現と様々な地域課題や行政課題解決に全力を傾注して来た。この結果元気な町

として将来の更なる発展に向けての基礎固めが、着実に進みつつあると思っている。北広島町が将来に向かって発展を遂げていくために、皆様の信託を戴く事が出来れば、全力を傾注してこれらの町の重要課題を着実に実現させて行く決意で臨みたい。

問

特定健診・保健指導事業の現状を問う。

答 ①メタボ健診の受診率と目標は。②検査項目の見直し有無は。③四〇歳未満と七〇歳以上の検診は。

答 ①目標は二〇％、推計値で現在一九・八％

②必要な検査項目を優先し調整した。③従来どおり三〇歳以上対象に実施した。

政 行

問 竹下町長二期目への挑戦は

答 新たな気持ちで挑戦したい



箕牧 智之

問 町長は合併後、新人町長としていろいろな思いの中で行政を進めてこられたと察する。

この町をどのようにしたいという夢を持っていたと思うがその夢を聞く。

答 これからの町のあり方は基本的に、国、県は市町に対して権限と財源を移すことが求められている。

活力ある町づくりを基本に挑戦したい。

問 町道の維持・管理は

危険を知らせるポールのコーンを立てたまま、なかなか維持工事が進んでいない。安心して通行できる町道にすべきではないか。

答 町内には八七五kmの町道がある。危険を知らせる箇所は三二箇所あり、緊急を要するもの、通行量の多い箇所から維持補修につとめていく。



問 次期町長選挙について

行 政
答 集中改革プランで
足腰の強い北広島町を



松田 実

問 ①来年三月は町長・町議選が行なわれる。

国家予算の圧縮など地方自治体いじめの中で、北広島町も財政が逼迫し、集中改革プランを策定し財政基盤の強化の取組み、新町建設計画の推進、企業誘致の促進、雇用環境対策、定住促進など数多くの課題が山積してきている。次期町長選挙への意欲について伺う。

りの支援策は。

答 ①財政が危機的状況で合併がスタートしたことで集中改革プランを策定し一定の前進をしている。

これの更なる発展で足腰の強い北広島町を実現する。又、指摘された課題が山積しており、課題解決に向け一層の精力を傾注し、町民の付託を得る努力をした。②強い農業育成に小規模農業者の多品目・付加価値の高い生産活動、販売活動を支援する。又、林業活性化も明るい見通しである。③パインリッジリゾート芸北スキー場の再建は、スキー場全体に影響があり、再建に関係者を含め協議していく。

問 燃油高騰による本町経済及び行政運営への影響と対策は

行 政
答 国・県の支援策の周知と
本町独自の対策を図る



宮本 裕之

問 原油価格の急激な上昇は、国民生活に多大な打撃を与えており、特にガソリン価格の急騰は、交通手段や物資の運搬を車に頼る中山間地域の住民には、大きな負担増になっている。

さらに鉄鋼をはじめとする建設資材や農業資材の高騰は、経営存亡の危機にさらされている現状である。この状況をどのように認識し対応されるのか、また、行政運営に及ぼす影響を伺う。

答 原油の急騰は、石油製品の価格を上昇させ、食品や日用品の値上がりは、国民生活に多大な打撃を与

えている。さらには建設資材・農業資材の高騰は、農業・商工業他全ての産業に影響を与えており、大きな問題と認識している。国も政府金融機関の融資拡大や、返済繰り延べなど支援策を講じている。また広島県も経営に支障をきたしている農業者に、運転資金の調達や省エネ型施設導入への金融支援の充実を打ち出している。国・県の支援策を周知していくと共に、本町としての対応を検討していく。

今後の行政運営における影響として、暖房費等の光熱費の増加や小・中学校の給食における材料費の増加を見込んでいく。

問 裁判員制度導入について

行 政
答 町民に協力と理解をお願いする



藤堂 修壮

問 平成二十一年五月二十一日から裁判官と国民から「くじ」により選ばれた裁判員により裁判が行なわれる事となり、北広島町からも裁判員候補者が選ばれるが町民に説明は出来ているのか。

また、「くじ」引きの方法は、そして選ばれた人は辞退できるのか質問する。

答 町民への説明は裁判所のパンフレットや町広報で行なっている。「くじ」の方法は電算システムにより選挙管理委員会が無作為抽出を行い裁判員名簿として裁判所に送る。本人通知は裁判所から送られる。

裁判員に選ばれると

よほどの理由がないと辞退できない。町民の不安解消に努める。

北広島町の景気対策を

問 近年の景気悪化は終止符の見えない事態となり、生活に大きな影響を及ぼしている。燃料の高騰や物価の高騰は、町民はもとより零細企業を直撃し、閉店や倒産に追い込んでいる。

分権社会の押しつけばかりでなく、地方の声を国・県に届かせる努力が必要かと思うが、考えを聞く。

答 企業誘致に努力しているが建設業や農林業、また小売業は厳しい状態であると認識している。

中山間地域の市町と連携し、広島県内陸部振興対策協議会などを通じ要望する。

問 北広島町の借地について

行 **答** 借地の解消また軽減を図っていききたい



竹丸 学

問 北広島町は町内に多くの町有地を保有している。その中には借地として借りている土地も沢山ある。現在のどの位の借地があるのか、又借地料は年間いくらなのか、契約時の条件などあると思う。今後どう対応していくのか伺う。

答 借地の十九年度末の契約件数は二〇四件で借地料の支払額は三二一九万円となっている。また十九年度で期間満了のものなど六件の契約の解除を行い返還した。土地の所有者との約束もあり、即座に解消できないところもあり、今後土地購入や借地料の改訂・

減額などで軽減を図って行きたい。

期 期限満了になる指定管理委託について

問 複数年契約の委託管理業者もいろいろ努力されておられるが、委託期限満了が近くなっている。次期の契約については、どのような考えか。

答 基本は公募による。目的は施設のサービス向上、経費の軽減を図るもので、選定基準に基づき適正に評価したい。早期早めの方針決定していき

→ 旧千代田町役場跡地



問 選挙開票のスピードアップを

行 **答** 一層のスピードアップを図る



田村 忠純

問 選挙の開票において最も大切なことは「正確であること」であり、間違いないことが最大のテーマである。

答 次に求められることは「早く」である。住民は、開票の経過や結果を「一刻も早く知りたい」と非常に高い関心を寄せて待っている。しかも時間の短縮は経費の節減になる。来年の三月には本町の町長選と町議選が行なわれる。

答 開票のスピードアップで期待できる効果は、

- ①住民に速やかな周知ができる。
- ②職員負担軽減。
- ③経費の節減、等がある。

昨年の参議院議員選挙の開票作業で、三次市の事例を参考に、開票台のカサ上げ、いちごバックの利用やシミュレーションを行なったところ、一定の効果はあったが、開票立会のところ、疑問票の審査に時間を費やし、スピードアップにはつながらなかった。教訓を生かし次回から一層のスピードアップを図る。



開票作業

問 義務教育振興プランの具現化は

教 **答** 答申に沿って基本計画を策定



中田 節雄

問 今年三月に、義務教育振興プラン検討委員会から、義務教育全般にわたる答申を得たと聞いているが、本町の特質として、少子高齢化に加え、広範な中山間地域で、教育環境にも様々な問題や課題を抱えている。そこで重点を、以下の五点について問う。

答 ①熊除けの鈴と防犯ブザーを配布しており、学校適正規

模の検討にあたっても十分に配慮する。②重要な課題であり、緊急度の高い校舎から整備をしていく。③小学校一七校のうち、一〇校が複式学級であり、答申でも単式学級で一学級二〇人から三〇人を適正規模とし、一部地域では地理的条件により一〇人程度としている。この答申に沿って学校の適正化に取り組んでいく。④老朽化した設備と運営方法の見直しを求められており、新しい体制を検討する段階にきていると認識している。⑤学力定着等の有効な手法であり、九年間の一貫した教育により、学力の向上、教員の指導力の向上等のメリットも多く、現在以上に小中一貫教育連携を進めていきたい。

教育 芸北分校の支援策は

答 中核となる学校であり、できる限りの支援を考える



久茂谷美保之

問 芸北分校は、近年学力やスポーツに、また、神楽など活躍している。来春に向けての支援について問う。①遠隔地（芸北地域）からの交通確保 ②下宿先の確保 ③寮の再整備は。

答 芸北分校は、地域とかがわりのある学校、また、中核となる学校である。通学のために生徒のニーズの把握を早く調査し、遠距離通学への支援策を考える。また寮の整備は、廃止届けがされておき、果としての再整備は無理である。今後下宿も含め、県町、分校の関係者で検討する。

スノースポーツ振興基金の活用は

問 全国大会等出場選手に対し、支援する事は出来ないものか。また、補助要項などの基準を策定する考えは。

答 芸北地域では、現在総合型スポーツへの取り組みを検討中であり、その総合型スポーツへの支援と全国大会への出場に対して基準を定め、基金の運用を図る。

トマト選果場の整備

問 芸北トマト選果場の施設が狭く選果が悪い。また、水洗トイレでないなど、整備が必要と考える。

答 問題点は把握しているが、現状所有者の広島市農協からの反応がない。

福祉 健康体操による医療費削減は

答 医療費削減に努力する



梅尾 泰文

問 健康で暮らせることは最高の幸せで、健康であるために努力されている。体操を続けること、医療費負担について、隣町の旧加計町が調査をしておられ、医療費の削減効果も出ている。その体操を本町の方も行ってみたい。町としてそうした団体の取り組みに支援することの考えをお聞きする。

答 本町は医療費のデータは、過去の貯蓄性で、過去行政でも関わってきた。この「生命の貯蓄性」は、過去行政でも関わってきた。現在は指導員も養成され自主的に行なわれている。医療費の削減にも通じるものと思う。

EM（有機微生物群）菌の効果は

問 EM（有機微生物群）菌の効果は

答 EM菌は二十年くらい前に土壌改良、作物の品質向上の目的で研究され、今では微生物が作り出す酵素などで、生ごみの堆肥化等利用されていると聞いている。ごみ処理コストの削減に有効とされている。

答 EM菌は二十年くらい前に土壌改良、作物の品質向上の目的で研究され、今では微生物が作り出す酵素などで、生ごみの堆肥化等利用されていると聞いている。ごみ処理コストの削減に有効とされている。



福祉 これからの地域医療・福祉・保健の在り方について

答 将来にわたって安定して提供していく



服部 照雄

問 本年六月、医療制度改革の方向を示す「安心と希望の医療確保ビジョン」がとりまとめられた。示す内容は、①医療従事者の数と役割 ②地域で支える医療の推進 ③医療従事者と患者・家族の協同の推進とある。特に地域で支える医療の推進について、町内医療機関を町民の方々はどのように利用されているのか。利用状況とこれからの課題について問う。

答 町内医療機関の利用状況は、二十年六月の国保加入者の受診状況をレセプト件数で見ると、延べ利用件数五〇一五件のうち二

九七四件で、約六割の利用状況となっている。現在、町内には町立・民間合わせて五つの病院と一〇の診療所があり、人口一〇万人対病院数及び病床数に当てはめると、病院数が二三施設、病床数では二二一四床となり、全国平均の数値、病院数七・病床数一二三床を大きく上回り、一定の医療基盤は確保されている。しかし高齢者人口の増加・少子化の進展、また、町域の広い本町における通院手段の確保や救急時対応、そして医療制度改革による影響等課題も多くある。地域特性に応じた医療・介護・福祉のサービスを提供できるよう、民間と町立病院の役割をも検討しながら行っていく。

産業

問 千代田流通工業団地の企業誘致及び上下水道の見直し

答 企業立地の状況等により調整する



勝丸 勝

問 県は千代田工業流通団地の宅建業工事（八億円）を完了し、町は上下水道整備事業（一七億円）を計画し、企業誘致に努めているが、誘致の見通し及び上下水道事業の見直しが必要ではないか。

答 ①今のところ企業誘致の見通しは立っていない。県と連携し一日も早い誘致に向け引き続き努力する。②上下水道整備は平成二十二年からの工事は企業の立地作業のスケジュールに合わせて調整する。③下水道整備は本年度の管工事を変更し、春木地区の工事、石井谷有田地区の調査設計事

業に当て、二十二年以降の二期分は企業立地状況等により調整する。

業に当て、二十二年以降の二期分は企業立地状況等により調整する。

少子化の現状と対策は

問 国づくりは人づくりから、子どもが生まれ健やかな成長は町、地域にとっても重要なことである。少子化対策の充実強化を求める。

答 ①出生率は平成二十年・十四年は一・五五人（一・八二人）（全国一・三八人）より高いが、年間出生数は平成十七年一六一人から平成十九年一九人と約二〇％減少するなど、少子化人口減が進んでいる。

②子育て支援室の新設、医療費の支給、保育支援など子育て環境の充実にも努める。

産業

問 県営工業団地造成の見直しについて

答 対策を検討する



室坂 光治

問 旧豊平町ではこれまで今吉田地域住民の方々に、県営工業団地立地に伴う事業計画の説明を重ね、土地の取得を終え団地への進入路、灌漑用水を兼ねた調整池、排水管理設工事などが終わっている。

しかし、地元住民から「サンショウウオ」の生息申し出があり、工事は中止となった。以後十年間手付かずの状態となっている。合併前に今吉田地区工業団地は、優良田園住宅団地に用途変更案があったが、未だに用途変更は行われていない。住宅団地を造成することにより北広島町の

定住促進の一翼を担い、今吉田地域の活性化にもつながってこると確信する。

計画の実現を求める見解を伺う。

答 この今吉田地域は、周囲に田園が広がる豊かな自然の中であり、地形的にも大変緩やかな優良地を開発も容易である。また広島市中心部へも至近距離である。

これからどう活用を図っていくかが大きな課題である。優良田園住宅も一つの方法であるが、状況の変化で住宅関係で行くのか、あるいは工業・産業関係で行くのか、社会的・経済的な条件なども考慮しながら、最も有効な活用ができるよう県と連携をとりながら検討を進めていく。

産業

問 国道二六一号線鈴張峠に登坂車線の整備を

答 極めて重要な路線、広島市に働きを行う



威升 芳信

問 国道二六一号線は本町と広島市を結ぶ大動脈であるが、広島市域の鈴張峠は交通の難所となっており、通勤や経済活動に多大な支障をきたしている。この交通難所解消は本町発展のための重要な課題である。この鈴張峠に過去長大トンネル整備の要望を行ったが、実現できなかった経緯もある。

トンネル整備でなく上り坂区間に登坂車線の整備をすれば、十分とは言えないまでも交通難所の解消は図れる。こうした要望を広島市に対し働きかける必要があるのではないか。

答 は、広島市と本町を結ぶ極めて重要な路線である。これまで特に要望は行なったことはないが、その必要性を改めて思っている。広島市への働きかけについては、色々な意見を伺いながら作戦を練りたいと思う。整備の必要性の根底には、広島市民のためでもある。

広島市とは良好な関係にあり、市幹部との太いパイプも出つつある。こうした点も活用し、整備実現に向け鋭意努力する。

←国道261号線鈴張峠付近

産 業

問 千代田八千代線
残事業の早期完了を

答 事業内示額に開発公社基金を上乗せ事業推進



亀岡 章治

問 千代田八千代線改良の残事業は、いずれも緊急度が高い。以下三件について更なる取り組みを求める。

①額田部地区の交通安全施設「歩道」の設置については、パーク跡地への自動車販売会社の進出により緊急性は更に高まった。用地買収の済んだ所から早急に着手すべきだ。

②出原工区は冬季の通行難所だ。スリップ・脱輪・追突事故の多発箇所だ。年内舗装を特に強く求める。

③下畑 特に安芸高田市場周辺はカーブが多く特に緊急を要する。平成二十五年までの改良計画未定は言語道断

である。県に対しムシロバタ要請が必要だ。

答 ①額田部地区の歩道は五億五千万円の事業費だ。内示額に開発公社基金を上乗せし事業の推進に努力をしてもらっている。今すぐの着工は無理だが、事情は県も町も理解をしている。町として早期着工をお願いしていく。

②県は来年度舗装を計画されているが、今年分の入札残が出たので、町は舗装をお願いした。しかし県は入札残を引き揚げて再配分の強固な方針だ。町は繰り上げ舗装を強力にお願いする。

③県の新規事業抑制で計画から除外されている。町としては新規事業の採択に向け強力に要請していく。

産 業

問 太陽光発電の導入を

答 取り組める事業を見きわめる



伊藤 久幸

問 近年世界規模で地球温暖化問題がクローズアップされている。その中で太陽光発電は再生可能エネルギーの中でも特に潜在的な利用可能量が多くのエネルギーの自給率の低いわが国の国産エネルギーとして重要な位置を占める可能性がある。

国策として大胆な導入支援策や新料金システム等を検討する。具体的には、住宅・産業・公共施設等の部分での思い切った導入支援、地方公共団体との連携の促進を促すとある。

本町において国の施策に対して、研究、早期導入を検討して行く必

要があると思うが、本町の方向づけはどうか。

答 本町では平成十八年度地域新エネルギービジョンを策定した。その中で太陽光発電は、自然エネルギーとして重要な位置づけにある。

環境省の事業の中で、太陽光発電導入加速化事業、太陽光発電世界一奪還戦略策定事業等々がある。

これらの事業の詳細等を研究し本町として取り組める事業については取り組んでいく。

問 商工業者への支援策は

答 燃料高騰、公共事業激減等により、零細商工業者には非常に厳しい状況にある。支援策は考えられないか。

答 商工会と町が緊密に連携し研究協議を行なっていく。

産 業

問 道路整備及び
グラウンドゴルフ場整備について

答 芸北広域農道は
平成二十六年を目標に



濱田 芳晴

問 若者が定住し、就業の場となる千代田地域内企業へのアクセス道となる、芸北広域農道の早期完成を産業建設委員会でも要望を行ったが、国は県・町の負担金予算枠の増額が先決との回答。本町の考えを聞き、県への要望活動とを考えている。

また、県道安佐豊平芸北線の早期整備を願っているが、広島市部分の国土調査の進捗状況はどうか。

問 圃場整備が出来なかった農道整備は、法人化で可能と聞くがどうか。

また吉川史跡への集客対策で、グラウンド

ゴルフ場の整備についてはどうなっているのか伺う。

答 十九年度再採択の四期工程、事業費五一億円と二十一年度採択申請予定の三期工程事業費四六億の高工期同時施工となり、二十二年度が工事のピークとなる。平成二十六年の完成に向け、県・町・促進協議会で国への働きかけを行っていく。

安佐豊平芸北線については、県と広島市が協定を結び、県が国土調査業務の準備を進めているが、広島市部分に筆界未定が二ヶ所あり、時間がかかる。

農道舗装は法人化に関係なく計画があれば可能。

グラウンドゴルフ場については、杖球(キック)を計画している。

委員会活動報告

総務 常任委員会

①教育委員会からの報告・協議

- 一、町内中学校の状況
- 二、千代田運動公園野球場のスタンド席の設置
- 三、義務教育振興プラン答申の、これまでの流れと今後の方針

②陳情、要望案件審査

- 一、自主防災に関する陳情について（採択）
- 二、地方消費者行政の強化について（継続審議）
- 三、次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制の堅持を求める意見書採択のお願いについて（採択）意見書提出

③補正予算の調査

委員会が所管する総務課、財政課、企画課、教育委員会、税務課から説明を受ける。

④委員会希望者

による「J」U（広島県中古自動車販売商工組合）視察



福祉保健 常任委員会

①視察研修

八月二十日（水）

- 厚生労働省において厚労省及び環境省担当者から次の点について研修
- 一、後期高齢者医療制度の理念・問題点
 - 二、地域医療の基本方針と今後の改善策
 - 三、保育行政の動向と課題
 - 四、公立病院改革ガイドラインのポイント
 - 五、小型合併浄化槽の整備方針
- 八月二十一日（木）
- 長野県軽井沢町保健福祉課、木もれ陽の里（福祉保健総合施設）、町立軽井沢病院を視察研修

②陳情審査

悪臭問題について

- 十月一日、現地視察
- 一、芸北地域小原、阪神畜産株式会社
 - 二、芸北地域細見、広島農園
- 保険業法の改定自主共済の適用除外を求める陳情について

③課題研修

- 一、福祉課、町民課、保健課関係の課題及び補正予算について研修
- 二、十月二十六日、E.M菌ぼかしについて、千代田地域南方の山本農園を視察

産業建設 常任委員会

①農林水産省への要望

八月二十日

- 中山間地域等直接支払い事業の継続について
- 二、所得補償制度（デカップリング）の導入について
 - 三、新規就農者の支援策について
 - 四、新規需要米の生産支援策について
 - 五、林業経営の支援策について
 - 六、広域農道の早期完成について
 - 七、農業資材高騰に対する支援策について

②国土交通省への要望

- 一、中山間地域における道路の整備について
- 二、河川改修の推進について

③九月定例会期中に農業委員会との意見交換を実施。

④視察研修 八月二十一日

- 一、東京都早稲田商店会の取り組みとアグリス成城市民農園の視察。

※農林水産省・国土交通省からの回答として、県負担分（四〇％）の予算化が要望実現の鍵であると指摘を受けて、十月中に県への要望を予定。

反対討論

杉本 武信

既設路線から軒下までの引込工事費は約一〇万円かかり、条例案では、早期加入申込期間内なら町が負担するが、期間後は加入者の負担となっている。「期間内に入らないと、加入金が三万円から五万円になるうえ、引込工事費一〇万円は自分持ち、後で泣くようになるぞ。」と強制するようなやり方はいかがかと思う。加入しない人があるのも、町の説明不足に起因している面がある。町民の中にこれから家を建てる人もあるだろう。後になって入ろうと思っても、加入金五万円と引込工事費一〇万円の計一五万円の負担は大きい。入った人と入らない人との情報格差が生まれ、町民の間に壁ができる。

町が引込工事費を負担しても充分回収できる。月二千円の利用料収入なら年間二万四千円、四年で一〇万円になり、五年目からは町の収入増になる。ともかく、加入していただくことが先決だ。条例案の月二千円の利用料は七〇％加入を想定している。加入率が高くなれば利用料を安くできる。町民の皆様にご負担だけ多く入っていただくようお願いするのが行政の姿だ。強制するようなやり方は行政がするべきではない。

N T Tでさえ、軒先までの引込工事は無料で、加入金は必ずしも要らない。民間との競争も念頭に置くべきだ。



北広島町情報通信施設の設置及び管理に関する条例

賛成討論

蔵升 芳信

本町の地域情報通信基盤整備は、採算性から民間通信業者による整備が期待できず、情報格差は今後さらに拡大することが懸念され、地域産業の発展、また、今後の町づくりにおいてこの情報化の遅れは大きな障害となる。

このため情報格差の解消が必要不可欠であり、全議員賛同のもとに取り組みが進められてきたものである。

総事業費二〇億円に対する批判もあるが、国の助成金また特別枠による過疎債の充当により、本町の負担は実質七億円弱で十五年償還とすれば年五千万円の負担である。「きたひろネット」への加入も芸北地域では百％となっており、

今後の加入状況によっては利用料金も安価になる可能性がある。

また今後「きたひろネット」による医療・福祉・防災等ライフガードシステムの活用等も考えられ、今後の町づくりに大きく寄与する事業であることを確信し賛成討論とする。

他賛成討論 松田 実



「きたひろネット」芸北サブセンター

陳情審査 ↓ 採択

◎ 自主防災に関する陳情について
(提出者) 八重二十五区 区長 川先 茂



グループホーム「きららの里」と栃田地域の皆さんとの防災訓練
(2008年9月29日実施)

◎ 次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制の堅持を求める意見書の採択のお願いについて
(提出者)

広島県教職員組合

ひろしま地区支部北広島支区

支区長 花藤 昌孝

「教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度堅持」を求める意見書の提出について

自治体の財政力や保護者の家計の違いによって子どもたちが受ける「教育水準」に格差があってはならない。

教育は未来への先行投資であり、子どもたちがどこで生まれ育ったとしても、等しく良質な教育が受けられる必要があり、2009年度の予算編成にあたり、財源確保・充実に求める。

内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣

地方の道路整備のための財源確保に関する意見書の提出について

道路は国民生活を支える基礎的なインフラであり、その整備は長年にわたって熟望しているところである。厳しい環境にある中、地域が活性化し持続的な発展を促す地方の道路整備のための財源確保に向け、特段の配慮を強く要望する。

内閣総理大臣 国土交通大臣
財務大臣

火葬場特別委員会は九月三十日に現場視察を行った。
現場説明では予定工期より遅れ気味の進捗とのことであったが、以後工事は急ピッチで進められ、十月末現在、空調・電気設備等、また、火葬炉の据付も完了し内装工事を主体に整備が進められている。
現在の進捗で進めば、十一月二十八日予定の竣工式には全ての整備が完了し、十二月一日供用開始できる見通しとなっている。



火葬場特別委員会報告 千代田地域火葬場(慈光苑)建設工事 十二月一日供用開始に向け工事急ピッチ



(火葬場特別委員会現地視察)

総合型スポーツクラブ (豊平中テニス部)



表紙の解説

授業終了後、総合型スポーツクラブ屋台村と連携し、どんぐり村テニスコートで毎日練習しており、月一回は、NTT西日本ソフトテニスクラブの講習会で指導を受けています。

9月27日開催の第57回広島県中学校総合体育大会に豊平中として出場し、ソフトテニス女子団体戦第3位に輝く大健闘をしました。巻頭写真とここに掲載した写真はその時の写真です。

九月定例会では、新たに決算に係わる健全化判断比率・資金不足比率が公表されました。北海道夕張市のように、財政再建団体にならないよう、自治体の財政状況を住民に公表するよう国が義務化したからです。今年も、台風が一度も上陸せず、天候にも恵まれたおかげで、米やなりもの出来はよかったです。反面、秋の味覚の王様、松茸・香茸は不作でした。皆さんのお宅ではいかがでしたでしょうか。
気象庁の予測では今年の秋は短いとのこと。朝夕の冷え込みも一日と厳しくなって参ります。ご自愛ください。

環境にやさしい再生紙を使用しています。